

ふれあい情報

速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)
 ■発行人 羽山 治美
 ■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
 Tel:03-5295-0507 Fax:03-5295-0541
 <e-mail>taisyo Kusharengo@sv.rengo-net.or.jp

2013年5月22日(水) **第163号**

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

退職者連合第5回幹事会

■第1回9・15実行委員会■

2013年度運動方針

**第一次修正案
を確認**

退職者連合は5月21日(火)、連合本部8階三役会議室において第5回幹事会を開催。第17回定期総会に本部提案する「2013年度運動方針」の第一次修正案などを確認しました。組織拡大では、新たに基幹労連シニアクラブが結成されたことや主要構成組織に対する連合との同行オルグの実施などが報告されました。また、引き続き開かれた第1回9・15実行委員会では、本年9月15日(日)午後1時から、東京・日比谷公会堂を会場にして「2013全国高齢者集会」を開催することを決めました。

10 地方、3 中央から意見

5月10日に締め切られた総会議案(運動方針及び社会保障制度及び税制等に関する要求書)に対する中央退職者組織、地方退職者組織からの



△運動方針案を検討する第5回幹事会。
5月21日、連合本部8階三役会議室。

意見は、合計13組織となりました(後掲)。幹事会では、羽山治美事務局長が意見の要旨を報告。提出された内容を検討した後、全会一致で第一次修正案はまとめられました。確認された運動方針案は、6月13日に箱根「開雲」で開かれる第6回幹事会で最終案に仕上げられます。

またこの日の幹事会では総会宣言・スローガン(案)を決めるとともに総会役員担当について各組織に要請しました。

なお当日の午前には連合本部3階第1会議室で第10回常任幹事会を開きました。

<意見提出組織>

○中央組織(3組織)
PUC退職者の会、JR総連OB連絡会、

<第5回幹事会・内容>**I. 報告事項**

1. 機関会議
2. 2013年度役員選考について
3. 委員会関係について
4. 組織拡大関係について
5. 集会・行動関係について
6. 教宣関係について
7. 連合関係について
8. 中央労福協関係について
9. その他
社会保障制度改革国民会議
への退職者連合の意見提出
について

II. 協議事項

1. 2013年運動方針策定について
2. 第17回定期総会について

III. 当面の日程**<第1回9・15実行委員会>**

林退会。

○地方組織 (10 地方)

山口県高退連、神奈川県シニア連合、兵庫高退連、新潟県高齢協、長退連、福退連、宮崎県退職者連合、鹿児島県高退連、北海道退職者連合、広退連。

「基幹労連シニアクラブ」

結成を報告

前号で基幹労連の退職者組織が4月22日に結成されたことを紹介しましたが、この日の幹事会において正式に羽山事務局長から報告されました。さらに5月7日に退職者連合本部で基幹労連シニアクラブと退職者連合との実務打ち合わせが行われ、以下の確認が行われたことも合わせて報告されました。

①出席者

<基幹労連シニアクラブ>栗啓豊事務局長、吉岡正親基幹労連副委員長(シニアクラブ参与:現職担当役員)
<退職者連合>阿部会長、羽山事務局長、事務局

②確認

○名称:日本基幹産業労働組合連合会退職者の会(略称:基幹労連シニアクラブ)

○役員:宮園哲朗会長(新日鐵住金労連出身)、小栗啓豊事務局長(JFEスチール労連出身)など

○会員数:5,000名

○手続き:退職者連合第17回総会で基幹労連・非鉄部門退職者の会から切り替える。

組織拡大の取り組み報告

連合と同行オルグ実施

～自動車総連本部など～

幹事会に報告された組織拡大の取

り組みでは、4月5日に第1回退職者連合組織拡大推進支援対策会議(連合と退職者連合で構成)が連合本部で開かれ、「現退対話」活動の推進状況の確認と調整、主要構成組織オルグ(要請行動)の実施について検討を行いました。その結果、以下の通り連合と退職者連合で同行オルグを行うことになりました。

①対象組織

自動車総連、電力総連、JEC連合、運輸労連、全労金

②実施期間 4月～6月

③担当者

(連合) 篠原淳子組織拡大・組織対策局長、金田光弘同次長
(退職者連合) 羽山治美事務局長、林道寛事務局長次長

*なお、この要請行動は連合本部が主体で行い、退職者連合は同行という形でのオルグになります。

◇ ◇

対策会議での確認を受けて、連合と退職者連合は4月9日に自動車総連本部、4月11日にJEC連合本部、5月22日に全労金本部を訪ね、退職者組織の立ち上げを要請しました。

第1回9・15実行委員会

2013全国高齢者集会内容決まる

幹事会の後に開かれた第1回9・15実行委員会では、本年9月に開催する「2013全国高齢者集会」の実施内容を以下の通り決定しました。

また、9月16日(月)には都内において第1回組織代表者会議を開催することも確認しました。

■9・15全国高齢者集会

①日時 2013年9月15日(日)

13:00～16:30(予定)

②会場 日比谷公会堂(全体集会)

③規模 2,000名

④デモ行進。集会後実施(銀座コース。鍛冶橋交差点まで予定)

■第1回組織代表者会議

①日時 2013年9月16日(月)

9:00～12:00

②会場 ホテル ルポール麹町

やっています「現退対話」①

<報告:全水道退協>

5月21日、全水道退協の芦沢春樹事務局長から4月25日に全水道会館で全水道本部役員との「現退対話」を行ったとの報告がありました。

出席は、退協が塚原会長、芦沢事務局長。全水道本部は永井委員長、久保・菅野両副委員長、西川書記長。

退協の要請内容は①各単組に退職者会の組織化②各単会の組織強化に向けた取り組み支援。これに対し永井委員長は「今日の全水道組織を作り上げてきた先輩たちの取り組みに敬意を表するとともに、テーマの内容の趣旨は十分理解している。役員の認識は退協の考えと同様である。趣旨に沿えるように努力したい」と力強く応じてくれたとのこと。

全水道退協では、このテーマをトップ間だけの取り組みにせず、以下の呼びかけを機関紙で行いました。

“私たちは今まで、退職者の組織化は「現役の責任」としてきました。しかし、「現役頼り」だけでは、組織の拡大・強化は進みません。まずは、私たち自身が「自ら組織拡大・強化のために何ができるのか」を考え、積極的に動き、実践することが大切です。その手始めに、今回、全水道本部と全水道退協で実施した「現退対話行動」を、各単組・単会においても実施するようお願いします。”